

さぬき市教育事務点検評価委員会（第1回） 会議要旨

- 1 日 時 令和6年7月8日（月） 9：30～11：37
- 2 場 所 さぬき市寒川第2庁舎203会議室
- 3 出席者 【委員】三井重彰 渡邊千栄美 多田照代
 【事務局】和田教育長 佐藤教育部長 細川教育総務課長
 高西学校教育課長 大生生涯学習課長
 酒井幼保こども園課長 山田人権推進課長
 赤松学校教育課主幹 多田教育総務課課長補佐

傍聴者 無し

- 4 議 題 (1) 教育委員会の事務の点検及び評価制度の趣旨等について
 (2) 教育委員会の事務の点検及び評価報告書の内容について
 (3) 質疑
 (4) その他 等

5 会議の内容

発言者	意見概要
教育部長	<p>それでは、ただ今から、第1回教育委員会事務点検評価委員会を開会します。まず、お手元に配付しております「附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針」に基づき、本会議の公開・非公開について、委員の皆さんの御意見をお聴きして決定する必要があります。</p> <p>4. の公開基準にもございますが、さぬき市情報公開条例の規定に該当する事項の審議や、公開することにより公正かつ円滑な審議が阻害されるような場合を除き、公開することとなっておりますので、本会議も公開する会議に該当しますので、公開とさせていただきますよろしいでしょうか。</p>
委員	はい。
教育部長	<p>それでは、公開とさせていただきます。なお、本日、傍聴人はいませんので、その旨を報告します。また、会議要旨については、会議後にホームページで公表することとしていますので、申し添えます。</p> <p>それでは、次第に沿いまして、教育長から御挨拶を申し上げます。</p>
教育長	(教育長挨拶)
教育部長	それでは、次第3「教育委員会の事務の点検及び評価制度」の趣旨等について、お手元の素案に基づき、事務局から説明します。
教育総務課長	(事務の点検及び評価制度の趣旨等について説明した。)
教育部長	<p>次に、次第4「事務の点検及び評価報告書の内容」について、各担当課長からページを追って順に説明します。説明につきましては、特に重要と思われる項目や令和5年度から新たに取り上げた項目を中心に説明し、事前にいただきました御質問の内容も盛り込んで御説明をさせていただきます。</p> <p>事務局からの説明がひととおり終わった後に、御意見、御質問をいただき</p>

<p>各課長 教育総務課長</p>	<p>たいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>(各施策の評価並びに成果、課題及び課題への対応について説明した。)</p> <p>(教育振興基本計画に基づく施策の点検・評価結果について、教育委員会の活動状況、資料について説明した。)</p>
<p>教育部長</p>	<p>資料の説明は、以上です。</p> <p>それでは、質疑に移りますので、質問、御意見等がありましたら、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>3 ページ教育方針1「生きぬく力」の領域の評価がBに下がっていますが、部活動や働き方改革、ICTの問題など課題が多いことを踏まえると、実態を踏まえ前向きに取り組めており、全体として安定した成果が残せている点を評価します。</p> <p>学校教育における学力は、いろいろな要素・要因がありますので、年によって差が出るのは仕方ないと思われます。また、課題にも記載されていますように、学力の二極化傾向が見られるようですが、知能指数(IQ)のベルカーブに対応したような正規分布にはなりにくいのが現実です。学習は、ある程度、暗記力や努力で何とかできますが、内容が難しくなってくると理解力が必要となってきますので、どうしてもベルカーブのような正規分布にはなりにくいと思われます。</p> <p>むしろ、課題のところに書かれていますが、無回答率が上昇していることの方が大きな問題であると考えます。この結果は、投げやりや自己肯定感の低さなどに関連する不登校問題とも関連しているようにも思われます。事前指導により、無回答はある程度回避できるのではないのでしょうか。勉強やテスト等に対する粘り強さや好ましい意味でのこだわりは大事なことであり、無回答率の解消に向けて、より一層、指導の充実を期待します。</p> <p>次に8 ページ、外国語教育の推進についてです。中学生の英語検定受験率ですが、低い数値が出ています。行事等のこともあり、受験人数を増やすのは難しいことが推測できますが、継続的に受験するよう働きかけを行っていただきたいと思います。</p> <p>13 ページ、部活動の地域移行の段階的な実施ですが、地域移行の準備段階で、計画していると思いますが、指導者研修の位置づけを必ず行っていただきたいと思います。</p> <p>15 ページ、ICTを活用した学校教育の情報化の推進についてです。引き続き、教職員に対するICT研修を継続的に実施していただきたいと思います。</p> <p>全体として、教育振興計画等にとらわれず、必要に応じて弾力的な視点を追加するなど適切に評価されていると思います。</p> <p>また、令和5年度より新たな取組となった多様性を尊重する教育の推進や幼児教育におけるSNSを活用した情報発信の充実など、社会の変化を見すえ、前向きで積極的な実践がなされていると思います。</p> <p>最後に、お願いになりますが、部活動や登下校中における熱中症対策を徹底していただきたいと思います。窓ガラスが熱割れする程の猛暑であり、先</p>

	<p>日も社会科見学中に児童が熱中症で病院に搬送されたというニュースがありました。</p> <p>また、近年、高温と多雨、線状降水帯が発生しがちです。市内には、対策が必要な危険箇所（新聞記事 2022.3.11）が94箇所存在しているとの報告があります。1箇所でも減少できるように努力していただきたいと思います。</p> <p>さらに、教師による性犯罪は、厳しい対応になることを、再度、徹底して指導いただきたいと思います。被害者に一生の心の傷（トラウマ）を残すことになり、強い立場を利用した行為は許されるものではありません。</p> <p>一方、現在は聞きませんが、対教師暴力に対しても、いかなる暴力も許さないという毅然とした姿勢を示す構えを持っていただきたいと思います。教師の性犯罪・体罰禁止と併せ、児童・生徒による対教師暴力に対しても、外部社会と同様な法的対応が必然であることを理解させたいものです。</p>
委員	<p>タブレットの日常的な持ち帰りは、行っていないということですが、病気で長期間お休みをした児童・生徒に対しては、どのような対応をしていますか。</p>
学校教育課長	<p>一部の学校では、長期入院の生徒に対して、病院内にタブレットを持ち込み、学校から授業の動画をタイムリーに配信するような対応をしています。</p>
委員	<p>小学生の孫がインフルエンザになり、自宅療養していた時に、タブレットを貸与していただきました。そのタブレットを使って、オンラインで授業を受けることができました。宿題も写真にとって、提出することができました。トラブル等にも迅速に対応していただき、学校の取組みに感謝しています。</p>
委員	<p>16ページ、学校危機管理体制の充実についてです。学校と地域が連携した計画的避難訓練、引き渡し訓練を実施したのは、どこの学校ですか。</p>
学校教育課長	<p>さぬき北小学校です。さぬき北小学校は、地域と連携した避難訓練を実施しています。</p>
委員	<p>志度地区の防災訓練は、志度小学校の校庭で行っています。令和6年度は、志度小学校の子どもにも呼びかけて、学校と地域で防災訓練を行う予定です。</p>
委員	<p>造田地区の防災訓練にも子どもたちのグループが参加しています。防災訓練では、ロープの結束方法を学んだり、煙体験をしたり、子ども達が防災の知識を学ぶことができます。学校と地域と一緒に訓練することには大きな意義があると思います。</p>
委員	<p>障害のある子ども、配慮が必要な子ども達の避難訓練は、どのようにしていますか。</p>
学校教育課主幹	<p>各学校に特別支援教育の担当者がいますので、一緒に避難するという形をとっています。</p>
委員	<p>今後とも、障害のある子ども達に引き続き配慮をお願いします。幼稚園や保育所等も含めてお願いします。</p>
委員	<p>31ページ、北海道剣淵町との交流についてです。令和6年度から往来が再開するようですが、どのような計画となっていますか。</p>

教育総務課長	さぬき市交流団は、7月26日から剣淵町へ出発します。小学校5年生、男女あわせて20人の児童が参加します。参加応募は、63人の児童からあり、抽選となりました。今年度からホームステイは行わずに、ホテルに滞在しながら、交流を図ります。
委員	家庭との交流は無しですか。
教育総務課長	剣淵町の児童数が少ないため、ホームステイは取りやめとなりました。
委員	来年度、剣淵町の児童がこちらへ来る際、さぬき市で利用するホテルはありますか。
教育総務課長	津田のじゃこ丸パークを予定しています。
委員	6ページ、タブレットの持ち帰りについてですが、現状は日常的な持ち帰りは、していないということですが、15ページを見ると、授業では、すべての学校でタブレットや電子黒板を利用していることが分かります。小学校では、かなり利用していますが、中学校では利用頻度が少ないようです。これは、中学校では受験があることが影響しているように思います。
	これからの社会において、ICTの活用は、ますます重要となってきますので、積極的な活用を推進していただきたいと思います。
	8ページ、外国語教育の推進ですが、ALTによる校外でのイベントも積極的に行っているようで評価できます。今日の新聞にもイングリッシュデイキャンプの記事が掲載されており、その記事を読んだところです。
	9ページ、就学前における質の高い教育・保育の提供ですが、未就園児のための園開放について、志度幼稚園1園が実施したとありますが、造田幼稚園も様々な取組を行っています。その取組みにより、就園率も上昇しました。
	10ページ、幼稚園の生活補助員を18名配置したということですが、配慮の必要な子どもはどのように受け入れていますか。主に公立の施設が受け皿となっているのでしょうか。
幼保こども園課長	基本的には、保護者の意向です。民間の施設でも、受け入れを行っています。
委員	14ページ、就学前の教育・保育施設についてです。他の自治体は、学校再編計画とあわせて、就学前施設の再編計画を策定しています。さぬき市は、私立の施設の実態や経営方針等を視野に入れながら、施設の在り方を検討するというのですが、具体的な方向性を持っているのかどうか疑問に思います。
	13ページ、部活動の地域移行ですが、まずは3つの部活動で休日への移行を検証するというのですが、どの部活動でしょうか。
学校教育課長	剣道、柔道、男子バレー部です。
委員	51ページ、社会体育施設の整備と充実ですが、造田小学校の体育館は、避難所になっていると思いますが、洋式トイレが一つしかありません。校舎にはいくつかありますが、地域の高齢者がたくさん来ますので、もう少し増やしてほしいと思います。
委員	新しく給食センターを建設する準備が進められているようですが、現在

<p>学校教育課長</p>	<p>は、どのような状況ですか。</p> <p>さぬき市学校給食共同調理場施設整備基本計画を策定し、その計画の中で、基本方針を定めています。建設場所は、旧富田小学校の跡地を予定しています。また、民間企業の専門的なノウハウを活用するPFI方式を採用しています。</p>
<p>教育部長</p>	<p>PFI方式というのは、建設から運営まで一つの会社に委託して行くものです。ただし、食材の調達や給食の献立などは、これまでどおりです。県内ですと、善通寺市、琴平町、多度津町学校給食センターや観音寺市給食センターがPFI方式を採用しています。三木町もPFI方式を採用し、現在、給食センターを建設中です。高松市、丸亀市についても、今後PFI方式を導入していくようです。</p> <p>他に御意見、御質問等はありませんか。</p> <p>それでは、次に、その他に移ります。今後のスケジュールについてお願いします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>(今後のスケジュールについて説明した。)</p>
<p>教育部長</p>	<p>それでは、以上をもちまして、第1回教育事務点検評価委員会を閉会します。長時間にわたり御審議いただき、また、貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。</p>